

| 掲載日 | 区部等 | 件名 | 質問事項 | 回答 |
|------------|-----|-----------------|--|--|
| 2019/12/16 | 刃口式 | 刃口式の元押し推進延長について | <p>刃口推進工法の元押し工法の推進延長を推進工法編P20で見ると、1000mmの場合60mとなっています。これは、作業の安全性、施工精度等を考慮しての目安とします。とありますが、ジャッキ推力（4000kN）を全て見てはいけないということでしょうか。</p> <p>昔は、ジャッキ推力を低減してしていたように思えますが、ジャッキ位置は、積算要領のように、元押しは40m、中押し1段設置70m、中押し2段設置100mとするべきなのでしょうか。</p> | <p>刃口推進工法の元押し工法の推進延長を推進工法編P20の該当図書を見つけることができませんでした。同様な内容を表示しているものとして、推進工法用設計積算要領 推進工法応用編P.167に中押し装置を使用した場合の刃口式呼び径1000～1650の推進延長の目安を記載しています。</p> <p>呼び径：1000～1650 元押し：20～60m 中押し1段：60～85m 中押し2段：85～115m</p> <p>掲載は、質問にあるように、あくまでも目安として掲載していますので実際の計画にあたっては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進方向の管の耐荷力 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管 呼び径1000 A-2-2018 圧縮強度50での許容耐荷力：3621kN ・ジャッキによる推進力 ・支圧壁背面の地盤の反力 等 <p>より延長を決定します。よって、呼び径1000では作業の安全性、施工精度等の考慮も必要ですが上記条件などにより、決定することとなります。</p> |